

国際プラトン学会東京大会
IPS 2010 Tokyo

IX Symposium Platonicum: Plato's Politeia
2010年8月2日～7日
慶應義塾大学三田キャンパスにて

本大会は、国際プラトン学会 (International Plato Society, <http://www.platosociety.org/>) が3年ごとに開催する研究発表大会です。プラトンは古代ギリシアを代表する哲学者の一人ですが、その活動範囲はイタリアにも及び、シチリア島を三度訪問したと伝えられています。第九回目を迎える今回の大会では、プラトンの『国家』(Politeia)がテーマとなっております。この作品には哲人王思想やイデア論といった彼の特徴的思想が凝縮されており、後世の様々な学問分野に影響を及ぼしています。大会には、イタリアを始め世界各地から著名な研究者が集い、1週間にわたり100を超える研究発表や講演会が予定されています。(使用言語は、英仏独伊西の5カ国語です。通訳はつきません)

本大会には、古代ギリシアの思想に関心をお持ちの方はどなたでも登録・参加ができます。

登録方法やスケジュール等について、詳しくは下記 web ページをご覧ください。

<http://phil.flet.keio.ac.jp/ips2010/index.html>

国際プラトン学会東京準備委員会
ips2010@phil.flet.keio.ac.jp